

## Greeting

### 動物園は笑顔があふ場所

園長 小松 守



ようです。

美大と連携したアートで彩られ、応援会のご支援で実現した音楽イベントなど多様なお楽しみも加わり、大森山は進化し続けているようで本当にありがたく、嬉しく思います。お盆の頃、久しぶりに再会する家族が笑顔で語らう様子などを見て、動物園という場の大切さや存在の大きさを実感、その分だけ責任の重さを考えてしまいました。

今年も夜の動物園が終わりました。昼夜5日間の来園者総数は昨年比20%アップの約2万5千人。お盆時期の秋田の風物詩的な存在になってい

混雑した中で聞こえてきた熟年カップルの会話、「すごいな、たくさんの方が来て」「去年は鳥インフルエンザもあって雪の動物園もなかったし…、久しぶりね」を聞きながら、昨年の初冬に発生した高病原性鳥インフルエンザのことを思い出しました。憩いの場、動物園は「幸せ時間」を過ごす空間でもあります。それは当たり前のようにある安全と安心があつてのことです。開放空間の動物園で鳥インフルの絶対防止は難しいですが、あの教訓を忘れることなく、油断せず、やれることはしっかりやり遂げなければならぬと改めて強く思いました。

鳥インフルから開放された春の開園3日間では約3万人の来園者が訪れました。それは動物園への応援と同時に、大事な場なんだよというサインだったように思えてきます。動物園は笑顔があふ場所なのです。



スバルバルライチョウ(上) コツメカワウソ(下)

しや、消毒の徹底を再確認したほか、鳥インフルエンザにより展示できなくなった施設の改修や新たな展示動物の導入なども検討されました。

### 3. 広がる支援の輪

3月18日の開園に向けて準備を進める大森山動物園にさまざまな形で支援の輪が広がりました。

那須どうぶつ王国からはスバルバルライチョウ2羽を無償譲渡いただき、コツメカワウソの搬入に当たっては、計画管理者の海遊館をはじめアドベンチャーワールドと札幌市円山動物園に大変お世話になりました。

また、小松園長の友人である絵本作家・あべ弘士氏のご厚意により、同氏の原画展を3月18日から4月9日まで開催することができました。3月19日には元上野動物園園長・小宮輝之氏と動物写真家・田井基文氏が友情出演し、原画展を記念したトークイベント「鳥を語る」が開催されました。

地元秋田市のホームテック株式会社様からは、カビバラ展示場に給湯設備を寄贈いただき、その設備を活用し「カビバラの湯っこ」を開設することができ、来園者からも大好評でした。

秋田魁新報様からは、開園情報に関

する特集記事を掲載いただき、記事の協賛金を活用して、第4駐車場近くにイベント情報などを掲示できる大きなオモリンの看板も設置することができました。

### 4. 大盛況となった開園3日間

今シーズンの開園初日の3月18日から20日までの3日間は、鳥インフルエンザによる休園のおわびと来園者への感謝の気持ちを込めて入園無料としました。

穂積市長のほか、ネーミングライツパートナーである秋田銀行の湊屋頭取にもご出席いただいた開園セレモニーでは、同銀行からお菓子のプレゼントも用意され、大勢のお客様がいらっしゃいました。開園3日間の入園者は約3万人。大勢のお客様の笑顔にふれ、大森山動物園の開園を心待ちにされていたかたが、こんなにもたくさんいたことに職員一同感激しました。

### 5. これからも愛される安全・安心な動物園に

大森山動物園は、秋以降の鳥インフルエンザ発生時期に備え、防鳥ネットの設置や鳥類隔離施設の建設などの対策を行っています。

これからも大森山動物園が安全で安心な動物園として、皆さまに愛されるよう努力してまいります。



穂積市長も見学「あべ弘士原画展」



トークイベント「鳥を語る」(左から田井氏、小宮氏)



大勢の来園者でにぎわう「カビバラの湯っこ」



秋田魁新報社寄贈の「オモリン看板」



来園者へお菓子のプレゼント



待ちかねた開園に笑顔の来園者

特集1

# 高病原性鳥インフルエンザからの再出発

企画広報担当 主席主査 吉田 淳一



3月18日開園日にぎわい

## 1. 鳥インフルエンザの発生と終息

昨年11月15日に園内動物病院で発生した高病原性鳥インフルエンザは、コクチョウやシロフクロウが感染し、大森山動物園がこれまで経験したことがない出来事として大きな影響をもたらしました。

発生日の翌日から動物園は休園となり、1月・2月に開催を予定していた「雪の動物園」も中止しました。

休園中の動物園は、園内の消毒作業を始めとする感染拡大防止の対策に追われました。職員は懸命に再発防止の対応に努め、今年1月7日に環境省による野鳥監視重点区域が解除されたことによ

う安心してことができました。

## 2. 再開園に向けて

鳥インフルエンザが終息したことを受け、動物園は今シーズンの開園準備にことりかかりましたが、一度完全に休止してしまつた動物園を再開するのは容易ではありませんでした。園内の防疫体制の見直